

2014 年度 半導体技術ロードマップ専門委員会の活動状況とワークショップの開催報告

東京大学・松尾豊准教授「人工知能の未来 — ディープラーニングの先にあるもの」
東京工業大学・西森秀稔教授「量子アニーリングと量子計算」の特別公演も好評

STRJ (Semiconductor Technology Roadmap committee of Japan: JEITA 半導体技術ロードマップ専門委員会) は、日本の半導体産業におけるニーズと戦略に基づき、国際活動とも連携して、15 年先までの半導体技術ロードマップを作成することを目的として、JEITA 半導体部会の技術委員会傘下の専門委員会として活動を続けています。活動を通じて半導体業界内での情報共有を行うとともに、半導体関連業界にはタイムリーな開発実用化に向けて、大学・研究機関には研究課題の方向について情報発信を行ってきました。

加えて STRJ の委員は、日本を代表して ITRS(International Technology Roadmap of Semiconductors) の編集作業に参加しており、技術ロードマップに関する情報・認識を共有するため、毎年 3 月初旬に STRJ ワークショップを開催してまいりました。今年度は、2015 年 3 月 6 日に品川コクヨホールにて STRJ ワークショップを開催し、約 130 名の方にご参加いただきました。

ワークショップの最初に、経済産業省商務情報政策局デバイス産業戦略室の宮崎貴哉室長に来賓ご挨拶をいただきました。ご挨拶の中で、「IoT (Internet of Things) とそれによる情報化が進展しており、そのためにも半導体技術が重要である」とのお言葉をいただきました。

プログラムでは、ITRS (国際半導体技術ロードマップ) の最新動向の概説の後、STRJ の各ワーキンググループ (12WG) から活動状況の報告が行われ、最近 1 年間の半導体技術動向のトピックスを STRJ の会員企業から参加の皆様と共有する良い機会となりました。

また今回は、特別講演を 2 件企画しました。東京大学の松尾豊准教授には、「人工知能の未来 — ディープラーニングの先にあるもの」について、また、東京工業大

学の西森秀稔教授には、「量子アニーリングと量子計算」について、講演をしていただきました。両講演とも最近話題となっているトピックスであり、参加者にも好評でした。最後に、STRJ の諮問委員会の林喜宏委員長に全体総括していただき、ワークショップは締めくくられました。ワークショップ終了後、懇親会を催し、参加者間の交流の場とするとともに、議論をさらに深める機会を持つことができました。

多数の方に関心をもってご参加いただき、STRJ ワークショップを成功裏に終了することができました。STRJ ワークショップの開催にあたり、関係各位の多大なるご支援、ご協力をいただきました。この場を借りまして、厚く御礼申し上げます。

なお、STRJ のホームページ (<http://semicon.jeita.or.jp/STRJ/>) では、ITRS の日本語訳、STRJ の活動情報などを掲載しております。

STRJ, ITRSの歴史と現状

